

1 実施概要

第1回 平成31年1月26日(土)
再編ルート素案について改善点を協議

第2回 平成31年2月16日(土)
第1回の協議を踏まえた修正案について協議

第3回 平成31年3月9日(土)
第2回の協議を踏まえて再修正案について

最終案の作成

当初案(第1回の素案)

概要	<ul style="list-style-type: none"> ○西部支線について <ul style="list-style-type: none"> ・はしお元気村から図書館、真美ヶ丘センターへの移動を確保 ・真美ヶ丘地区から、はしお元気村経由で国保中央病院への移動を確保 ・真美ヶ丘地区からイズミヤへの移動を確保 ○北東部支線について <ul style="list-style-type: none"> ・北小学校区からはしお元気村経由で真美ヶ丘地区への移動確保 ・広瀬地区、百済地区から中央公民館への移動を確保
メリット	<ul style="list-style-type: none"> ・各拠点まで乗りかえなしでいけるところが増える。
デメリット	<ul style="list-style-type: none"> ・西部支線、北東部支線の路線長、所要時間が長くなる。 ・一部のバス停が廃止になる。

最終案

概要	<ul style="list-style-type: none"> ○西部支線⇒北部支線に変更 <ul style="list-style-type: none"> ・北小学校区から図書館、真美ヶ丘センターへの移動を確保 ・馬見北4丁目付近へのバス停設置 ○北東部支線⇒南部支線に変更 <ul style="list-style-type: none"> ・広瀬地区、百済地区からエコーラマミ、図書館、エバグリーンへ直行 ・コープなんごうへ延伸 ○近鉄高田駅利用に限り100円⇒200円に変更
メリット	<ul style="list-style-type: none"> ・乗り換えなしで行ける拠点増加。当初案より所要時間短縮 (北部支線 現行52分⇒当初72分⇒最終68分) (南部支線 現行80分⇒当初90分⇒最終59分～73分)
デメリット	<ul style="list-style-type: none"> ・一部のバス停が廃止になる。



2 意見の概要

第1回 ワークショップ

(1) 今回の再編案へ反映した事項

NO	意見	対応
1	百済・広瀬地区から、エコーラマミや図書館、エバグリーンへ直通する便の運行	運行ルート・ダイヤへ反映
2	病院の前にバス停設置	
3	町営住宅にバス停を設置	
4	目的に合わせた運行ダイヤ	
5	馬見北4丁目付近へのバス停設置	
6	通勤・通学と買い物・医療機関による目的に合わせた検討	
7	築山にある「コープなんごう」に行ってほしい	
8	運賃の値上げ	近鉄高田駅への移動については、200円
9	運賃は現状のまま	その他の移動については、100円

(2) 反映しないまたは、今後検討する事項

NO	意見	対応
1	デマンド方式を取り入れる	路線バス及び広陵元気号の利用者の取り込みになるため、今回の再編案には反映しない
2	無料券の配布など、乗車経験のない人へのPRを実施	今後も積極的にPRを継続
3	箸尾駅周辺の道路整備	箸尾駅周辺のまちづくりの中で検討
4	高田駅発の最終便の時刻を遅らせる。満車で乗れないことがあるので便数増等	運行経費増になるため早朝や遅い時間帯の運行は困難
5	目的地（駅、商業施設、国保病院など）への直行便の運行	路線が長大化し、所要時間が長くなるため、すべての目的地への直行便は運行はできない
6	馬見丘陵公園、竹取公園への運行（イベント時の臨時便など）	今後、イベントごとに対応を検討
7	今後、増便も視野にいれる	今後、検討
8	エコーラマミに役場出張所を設置しバスの増便を緩和	今後、公共施設の配置計画の中で検討
9	奈良交通の路線があっても、便がないときには運行してほしい	路線バス利用者の取り込みになるので、運行しない

第2回 ワークショップ

(1) 今回の再編案へ反映した事項

NO	意見	対応
1	百済・広瀬地区のルート変更等については地元の意見を聞いてから判断	地元の意見を確認した結果、現行通りのルート
2	馬見北4丁目への運行を再検討	安全確保の観点や運行時間の観点から上田部奥鳥井線沿いに新設
3	運賃は、近鉄高田駅利用は200円で良い	近鉄高田駅利用者は、200円にする
4	古寺町営住宅前は川沿いの道を運行	交通規制、安全確保のため計画通り
5	真美ヶ丘体育館前の道は安全通行上、問題	馬見北4丁目のバス停新設により、見送る

(2) 反映しないまたは、今後検討する事項

NO	意見	対応
1	夜の運行を今後考えてほしい	経費増となるため現状では夜遅くまで運行することはできません。
2	拠点の強化	関係部署において検討
3	中央幹線を箸尾駅前まで延伸	今後、箸尾駅周辺のまちづくりの中で検討
4	中央幹線は、国保中央病院周辺のスーパーまで延伸	国保中央病院を拠点とした広域連携を検討
5	便数を増やす、乗り継ぎをスムーズにするなどしてほしい。	車両数、運転手不足により増便は困難。乗り継ぎは、可能な範囲で調整
6	広報を強化し、利用者を増やすことを考える必要	今後も積極的にPR活動を継続

(3) その他

NO	意見
1	百済、広瀬地区及び北小学校区からエコーラマミ、図書館に行けるようにしてほしい、という前回の要望は実現
2	寺戸南口バス停前に民間の健康診断センターができるので、利用する人が増えると思われる。
3	南部支線の朝夕以外は近鉄高田駅まで行かないことについては、目的にあった運行になっているので良いと思う。

第3回 ワークショップ

(1) 今回の再編案へ反映した事項

NO	意見	対応
1	百済地区のルートは、地元希望に対応して(仮)広陵東体育館北～百済地区を南下～広陵町役場～中央公民館に変更してはどうか。	ルート変更

(2) 反映しないまたは、今後検討する事項

NO	意見	対応
1	古寺町営住宅から(仮)古寺町営住宅北まで150mくらい離れているので、町営住宅前にバス停を設置し、バスは循環するルートにしてはどうか。	バス停まで150m以上離れている地区が他にもたくさんある。他の地区と平等にする観点から、提案どおり(町営住宅の北)

(3) 利用促進策の提案

NO	意見	
1	多様な媒体を活用した広報活動	<ul style="list-style-type: none"> 今回の改善点を中心にアピールする 乗り方の案内をする 乗車体験談（実際に乗車している人の利用の仕方、行先など）を掲載する（広報誌等） さまざまな会合等で直接に体験談を話す 広報する媒体を工夫する（回覧板の活用、駅の広告板の活用、民生サロンなどの会合での説明、若い方にはSNSを活用（フェイスブック、インスタグラム、ラインなど））
2	バス停を活用した広報	<ul style="list-style-type: none"> バス停に乗り換え案内表示をする 各バス停に乗り継ぎ案内を設置する
3	バス停の整備	バス停が目につかないので、わかりやすいものにする
4	マイ時刻表の作成	<ul style="list-style-type: none"> 地域内のバス停から主な行先（スーパー等）への行きと帰りの時刻表を作成して配布する。 利用者が良く使うおすすめプランをまとめて配布する
5	病院等の送迎バスも含めた広報	元気号の時刻表に病院の送迎バスの案内も入れるなど、町内のバス情報をとりまとめる
6	病院等、施設での案内	病院や図書館などで、広陵元気号の時刻表などを掲載し、バス利用を案内する
7	無料券の配布	<ul style="list-style-type: none"> 老人クラブなどで無料券を配布する 無料券には、有効期間を設定して配布する 広陵元気号のルート再編初日は無料にするなど、特定の日の無料期間を設定する（無料券を配布する方法の場合、無料券を利用する人が多くなると、運賃を払って乗車する人が乗車できないことが発生するため）